



信頼と共感で、 政治を前に進める

参議院議員(埼玉選挙区)・歯科医師

関口 まさかず



やまぐち・すすむ

昭和58年7月、埼玉県比企郡川島町生まれ。会社員を経て官房長官秘書官、衆院議員秘書。昨年10月の総選挙で埼玉県第10区より衆議院議員(小選挙区)に初当選。国会対策委員、青年局長など。衆院農林水産・文部科学委員会などに所属。

衆議院議員

自民党埼玉県第10選挙区支部長

山口すすむ

せきぐち・まさかず

昭和28年6月、埼玉県秩父郡皆野町生まれ。埼玉県議(3期)を経て、平成15年10月参議院埼玉選挙区で初当選(現在4期目)。裁判官弾劾裁判所裁判員、自民党参議院国会対策委員長などを務め、令和元年7月より自民党参議院議員会長。

政治の世界に入ったきっかけは、当時参議院議員だった父関口恵造の政治姿勢に共感したこと、また地元秩父郡市をより住みやすい街にしたかったことなど考えていた際、秩父郡市の首長や議員、住民の皆様より力強い後押しがあり県議会議員に立候補しました。その後、も地元の皆様にご支援を賜り、現在参議院議員として活動させていただいております。私の政治信条は実行実現です。自民党では信頼と共感が政治を前に進める原動力であり、国民の

国民の声をしっかりと受け止め、政治を前に進めていく。参議院議員としてご活躍されています。そもそも政治の世界に入られた、きっかけや政治への想いなどお聞かせください。

令和4年の新春を迎え、今年こそは人類がコロナウィルスの脅威から克服する年となるよう願い、経済の回復も併せて国政の場で全力を尽くして参ります。さて、昨年10月の衆議院議員選挙に続き、今年参議院選挙が7月に予定されています。今回の新春初対談は、関口まさかず参議院議員(埼玉選挙区)をお迎えしました。関口まさかず参議院議員は現在4期目、自由民主党参議院議員会長の要職を務められています。



声もしっかり受け止め、寄り添い、政治を全力で進めていくということでありますが、私も国民の皆様のような意見や要望にしっかりと耳を傾け、政策の実行実現へ努力してまいります。

山口 関口先生は歯科医師から県議会議員に転身され、更に参議院議員としてご活躍されています。また、参議院では決算を重視してあります。参議院改革の一環として、前年度の決算を年内に審議をスタートさせ、翌年度の予算にしっかりと反映させるようになりました。令和2年度の決算につきましても、臨時国会において審議入りいたしました。衆議院に対する補完、抑

参議院と参議院の役割、というところがよく議論されます。衆議院との違いやこれからの参議院の役割など、どうお考えですか。

山口 埼玉県選出の参議院議員として、これまで実現できなかった、またこれからやらなければならないことなどお答えください。

山口 現在の参議院議員会長とどのようなお仕事、役割なのでしょうか。

山口 参議院議員会長は、自民党所属参議院議員による選挙で選ばれ、党所属参議院議員の代表であり責任者です。参議院内活動、党本部や政府との調整役に加え、コロナ禍における様々な支援策を政府に申し入れる等、参議員自民党独自の活動を牽引しております。任期は、参議院選挙から参議院選挙の間の3年間で、いかに参議院選挙に勝利するかも大きな仕事のひとつです。先頭に立ち、国民の皆様のご支援がいただけるよう、全力で頑張りたいと思います。

山口 私がもっとも印象に残っているのが、平成26年2月14日の豪雪被害であります。関東甲信越において未曾有の積雪があり大きな被害をもたらしました。県内の農業被害も深刻であり作物被害108億円、施設被害121億円にのぼりました。私も、農林水産大臣に被害状況の報告と早急な取り組みを求め、結果災害関連の融資の無利子化や農業ハウス等の再建・修繕等支援対策が決定されました。当時総務副大臣だった私も支援策の策定の中心となって取り組み、初めて農業用ハウス等の再建・修繕に関する交付税措置を講ずることを決定いたしました。異常気象が頻発する最近の状況を踏まえ類似の事態が将来発生することに備えて政府全体で課題に取り組んで参ります。また、コロナウィルスを含めた感染症の対策や皆様方の生活を守るために努力してまいります。



※十分な距離、しきりを設け対談しました。

岸田内閣初の施政方針演説と令和4年度予算案



第208通常国会が開会(1月17日)し、岸田内閣が発足して初めての施政方針演説が行われました。岸田総理は、施政方針演説で「オミクロン株」の特性を踏まえて、重症者に主眼を置いた医療提供体制を強化し、自衛隊の大規模接種センターなども開設し、3回目のワクチン接種を前倒するなど最大限の対策を実施。また2050年カーボンニュートラルの政府目標の実現に向けて、産業構造や国民生活を含め、経済社会全体の大改革に取り組むことなどを表明しました。

国会は代表質問に続き、令和4年度予算案の審議に入ります。岸田政権が手掛けた初の当初予算案は、一般会計予算が10年連続過去最大の107兆6000億円となりました。12月議会で成立した、35兆9895億円の補正予算と合わせて、これまでにない規模の「15か月予算」となり、コロナ克服、経済回復を目指します。

岸田内閣は政府提案の法案、「子ども家庭庁」設置法案や「経済安全保障推進法案」などで行政の縦割り打破にも挑みます。会期は6月15日までの150日間、政府、与野党で論戦が繰り広げられます。

故 木下たかし 前埼玉県議会議員を偲んで

前県議会議長の木下たかしさんが急逝されました。まだ62歳を迎えたばかり。「すすむ君、10区から民間ロケットを飛ばすよ!手伝って。」木下県議の発想はいつもユニークで、ビックリさせられました。農大跡地、鶴ヶ島ジャンクションを起点にした半径10キロ圏、鶴ヶ島、坂戸市など13市町の広域でAI・IoT、ビックデータなどを活用したスマート社会の街づくりがスタートしたのも、木下さんの発想と行動力でした。もちろん、私の選挙戦では病魔をおして中心となって支えていただきました。ロケットの打ち上げは私が引き継ぎます。どうぞ安らかに眠りください。(合掌 山口すすむ)



まだ暗い朝の駅頭から



小学校の国会見学で国会解説



県町村会から要望を受け取る



自民党青年局役員に台湾留学生が表敬訪問



財務大臣にJICA予算で陳情

チャレンジ!未来へ。

～毎日、全力疾走～



消防出初式でご挨拶



地元会合で来賓あいさつ



交差点でドライバーにご挨拶



グラウンドゴルフ大会で



地元イベントでご挨拶

山口すすむ プロフィール



- 1983年7月 川島町生まれ ●川島町立中山小学校
- 西武学園文理中学校 高等学校卒業 ●成城大学経済学部卒業
- 一橋大学国際公共政策大学院修了 ●国立シンガポール大学リークワンユー公共政策大学院修了
- 東京ガス株式会社 ●衆議院議員菅義偉事務所(内閣官房長官秘書官)
- 令和3年7月 自民党埼玉県第10選挙区支部長に就任
- 第49回総選挙にて、96,153票の得票をいただき、小選挙区で初当選
- 自民党: 国会対策委員、青年局・女性局・新聞出版局 各次長(兼青年局国際副部长)、行革推進本部幹事、財政健全化推進本部事務局長補佐、沖縄振興調査会幹事など
- 衆議院: 農林水産委員会、文部科学委員会、沖縄北方特別委員会、に所属



新しいポスターが
刷り上がりました。
ポスターの掲示場所を探しています。
ご一報ください。



公式サイト



Facebook



Twitter

